

# 多賀城市 大代地区公民館

## 「防災キャンプ2023」

令和5年7月27日（木）、28日（金）実施

### 事業の概要

今年で4年目となる、1泊2日で小学生を対象とした防災体験（資材組立、火おこし、サバ飯づくりなど）を中心としたキャンプです。地域、学校、周辺企業と協力し、防災に関する学習、体験を行います。参加する小学生の活動を地域の中学生がフォローし、多賀城高校災害科学科の生徒による話し合い中心の防災学習を行ったり、周辺企業の火力発電所内の製油所を見学したりします。また、非常食である乾物を使ったカレー作りにも取り組みます。

### 講師

大代地区公民館職員、多賀城市生涯学習課職員

大代地区コミュニティ推進協議会

多賀城高校災害科学科生徒、東豊中学校生徒会執行部員

わしん倶楽部、大代防犯協会

ENEOS 仙台製油所職員

### 当日の様子



多賀城高校災害科学科の生徒2名が、様々な資料を使って、分かりやすく、災害からの身の守り方を教えてくれました。参加した小学生も積極的に発言、質問をし、同じ班の中学生と話し合いながら、災害時の身の守り方を学んでいました。



地震発生時の「だんごむし」のポーズは、小学校での経験もあり、全員が、素早く、正確に行うことが出来ました。



様々な状況を想定し、地震後にどこに避難すればいいのかをグループで話し合いました。起きるかもしれない危険を考え、避難場所を考えていく中で、地域の状況を知ることが、突然の災害時に非難する上で必要になることを感じていました。